

# オガワエコノスのエコノスは、エコロジーとテクノロジー

小川 勲 (おがわ いさお/株式会社オガワエコノス代表取締役社長)

## 当社の受賞は、地元でも話題に

今回は、経営者の「環境力」大賞で表彰して頂き、ありがとうございました。

受賞後、社員も喜んでくれましたが、地元マスコミにも大きく取上げて頂きました。特に、受賞直後の中国新聞での反応は大きく、お取引先の企業や自治体関係者の方からも当社の社員にお祝いの言葉を多々頂きました。ありがたいことです。



RCCの録音風景

また、後日3月26日地元AM放送局のRCCラジオ「広島元気カンパニー」に約10分程、出演いたしました。リスナーの反応から、地方においても、「環境」や「経営者の環境力」というキーワードがこれから一層重要視されていくのではと感じました。

## 広く知ってもらうことが環境力を高める秘訣

私の事業へのエネルギーの原点は、廃棄物処理

業は世の中に必要な仕事をしているのに知られていないし、解ってもらっていないことでした。だからこそ、資格の1番の情報公開と12番のコミュニケーション力を非常に大事だと思っています。

工場見学の受入から始まって、小学校の環境学習への協力、社会人・企業人の受入、産業観光の受入、小中学生の職業体験受入、JICA視察等多くの方に工場を開放して、リサイクルの作業を見て知ってもらう様に努力しています。

一方、社会貢献として、障害者福祉活動の支援から作業の職場を提供しています。ペットボトルと浄水器リサイクルや古着リサイクルの作業を提供し、障害者福祉活動には重点をおいていきたいと思っています。

また、地元貢献として、子供会などの資源回収支援や道路清掃や地元の府中産業メッセへの出展や福山バラ祭りへのゼロエミッション協力等地元のイベントにも積極的に参加しています。

市民に愛される会社、また行政から安心して任せられる会社を目指して一生懸命にやってきました。

一方で、それらの活動の結果として、社員や会社が世間から見られることも良い影響がありました。その社外からの視線により、社員も会社も鍛えられたことです。

別の視点として、客観的な他者評価を得るために、「第三者評価」を積極的に取り入れています。平成12年にISO14001認証を取得。平成17年には、財務内容を公開している産廃情報ネットにも参加。平成18年には、SME中小企業格付けも取得しました。

## 環境力＝エコロジー＋テクノロジー

私が社長就任時に、社名を変更しました。エコノスとは、エコロジーと技術のテクノロジーをミックスした造語です。その思いは、今時代の流れの中で、評価されつつあると感じています。振り返って見れば、当社の歴史はその積み重ねでした。

私は、当社の転機の二事業に挑戦しました。一つ目は、昭和50年代のゴミ戦争の時、府中市の埋立地延命のために、家庭から出る資源ごみ回収のリサイクルを進めたことです。

二つ目は、廃棄物を原料にした製造業である石炭代替燃料RPF製造業に進出したことです。両事業は、それぞれ成長して、現在当社の経営3本柱の2本になっています。

私は、廃棄物は全て資源であると考えています。そして、このまま地域で限定して事業活動してはジリ貧になり雇用も守れないと考えています。そこで、力を入れているのは、人材育成とネットワーク構築です。人材育成は、社員一人一人が企業のブランドであり、そのことが、お客様に安心と信頼を提供して指名される会社になるのだと思っています。

研修は、社内研修と社外研修に分かれて実施しています。社内研修は、職階で一般社員と管理職に分けて、企業理念や毎年の社長方針に基づいて実施。管理職は、目標管理で毎月グループ単位で集まり、PDCAサイクルを回しています。一般社員も、徐々にPDCAサイクルを意識させるように積み重ねています。

社外研修は、許認可上の必要な資格取得や安全衛生や技術の関係を積極的に勧めています。経費は会社負担で、社員のヤル気を高めるようにしています。

次いで、全国リサイクルネットワークの構築です。営業部の商社機能を強化し、全国一律のワンストップサービスの構築を図っています。排出事業者の本社を当社が担当し、当社の工場がある地区は当社で処理し、それ以外の地区はネットワー

クでお願いするというギブアンドテイクの関係です。

当社は、常に時代の変化に対応して、業務内容を変化させてきました。これからも、時代の先取りを心掛けたいと考えています。

## CO<sub>2</sub>への環境力が問われる時代に

当社は、地方に本社がありますが、東京に拠点も構えています。それは、東京本社に会社へ営業提案を行なうためです。加えて、世の中の動きや情報の収集も重要な業務としています。

今、東京の話題は、地球温暖化問題のCO<sub>2</sub>削減です。そこで、地方の当社のできることを今模索しています。最近実施したのは、自社の環境省算定制度によるCO<sub>2</sub>算定です。「エコ・ファーストの約束」申込や環境省主管の自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)への参加申込や、京都クレジットの購入検討など、何ができるかを検討しています。また、先日改訂された省エネルギー法や地球温暖化対策推進法の企業への影響の分析を行っています。そして、京都議定書の最終年2012年に向けての国の動きに注目しています。CO<sub>2</sub>削減の問題は、もっと別の次元で、社会や企業運営・製造システムを一新させる可能性があり、CO<sub>2</sub>削減こそが、企業の社会的責任の時代になったと感じています。

そのような意味では、「企業が社会と共生」をテーマで活動を展開されている環境文明21の活動は、時流を先取りされた活動との思いを深めています。人類も企業も、存続してこそ意味ある存在と考えます。今後も、社会から必要とされる会社になるように、「三方よし」の基本原則で環境力を鍛えて行きたいと考えています。

株式会社 オガワエコノス  
〒726-0013 広島県府中市高木町502-10  
TEL : 0847-45-2998 FAX : 0847-45-5872  
HP <http://www.o-econos.com>